

# 越中福岡の菅笠製作技術保存会通信

2010年

No. 5

## スゲの刈り取り

平成二十二年の梅雨明けは、七月十七日。今年も、スゲの刈り取りが行われました。刈り取りは、早朝又は夕方、草刈鎌を用い、一株づつ水平に刈り取ります。そして、刈り取られたスゲは、一週間かけて裏表交互に天日干しし、乾燥・脱色をはかります。扇状に並べられたスゲ干しは、福岡で見られない美しい景観です。今、小矢部川付近のあちらこちらで見ることが出来ます。



## 保存会半纏完成

越中福岡の菅笠製作技術保存会の半纏が仕上がりました。展示実演の際に着用し、PRに努めたいと思います。

## 来て見て高岡のとおき展

平成二十二年七月二日(金)～三十日(金)の間、東京いきいき富山館で、高岡の伝統工芸品と一緒に福岡の菅笠・菅細工を展示・販売しました。



## 菅笠ミニ知識⑤



福岡小学校で行われている「菅笠づくり教室」は、昭和五十二年に女子児童対象に夏休みに行われたのが始まりです。

昭和五十六年から平成十八年までは、五年生全員と父兄の方で、冬季の数日間で花笠を作り、翌年の運動会の「菅笠音頭」踊りで使われていました。

現在では、五年生全員に、ものづくりデザイン科の一環として、地元教育に生かされています。

次世代を担う子供達には、福岡の菅笠を支えてきた人の営みや心に触れる機会です。是非とも興味を持っていただきたいです。

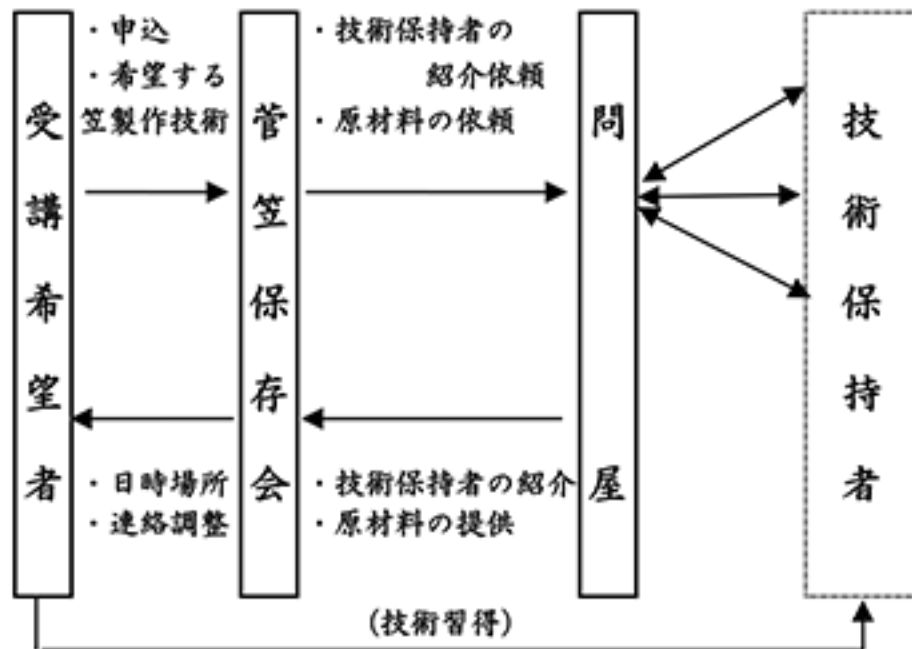
# 菅笠製作研修制度

今回、初めてこの菅笠製作研修制度をご紹介します。

菅笠づくり経験者や体験教室修了者等の中で、菅笠製作技術の向上に意欲のある人が、菅笠製作技術保持者からその技を伝授してもらうのに必要な費用の一部を助成し、後継者の育成を図ろうとするものです。興味のある方は、保存会までご連絡下さい。

● 問合せ先 匝 六四一五三三三

## ～研修制度の流れ～



## 笠縫技術者ご紹介



中谷 みよくさん  
大正3年1月7日生 (96歳)

十九歳の時から、菅笠を縫い始めた中谷さん。嫁時代の事、一冬で三二〇枚縫い上げたら、お姑さんにほめられ、とても嬉しかったと、当時の思い出を話して下さいました。「お金をもらうんだから、きれいに縫わないとね」と、今も現役で、頑張っておいでます。中谷さんの長寿の秘訣は、くよくよしない。思ったことは、はっきり言うことだそうです。周りの人に支えられ、笑顔のステキな中谷さんでした。

## 歴史民俗資料館特別展示

「福岡町と菅笠」  
日 時 九月十八日～  
十月三十一日  
場 所 福岡歴史民俗資料館

まなびっこフェスティバルに参加

フェスティバルの趣旨は、青少年教育の関心及び施設（二上まなび交流館）の認知度を高め利用者の増加を目指すものです。

今回の菅笠保存会参加については、旧高岡市と旧福岡町の合併五周年記念事業の一部として取り入れられました。一般の方を対象に、「ミニ菅笠づくり」を上演・指導いたします。

詳しくは、市民と市政に、掲載されます。また、市内各小学校・保育園にも案内されます。

### ● 第二回

まなびっこフェスティバル  
日 時 十月九日（土）  
時間 午前十時～午後三時  
場 所 高岡市二上まなび交流館  
※ 参加費無料